

環境経営レポート

対象期間 2022年8月1日～2023年7月31日



忠生701号線道路舗装改良工事

2023年9月30日 発行

有限会社 エム・ビルド

1. 組織の概要

○事業所名及び代表者氏名

有限会社 エム・ビルド
代表取締役社長 長谷川 美由紀

○所在地

本 社 : 東京都町田市小野路町 46-1
資材置き場 : 東京都町田市小野路町 47-1

○環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役本部長: 長谷井 諭 TEL:042-708-9537 FAX:042-708-9538
Eメール:m-build@pluto.plala.or.jp
担当者 総務担当者: 森脇 恵美 TEL:042-708-9537 FAX:042-708-9538
Eメール:m-build@pluto.plala.or.jp

○事業活動の内容

建設業(土木工事)
・建設業許可 東京都知事 許可(特-2) 第 114936 号
土木工事業
とび・土工工事業
ほ装工事業
水道施設工事業

・産業廃棄物収集運搬業 許可 第 13-00-157246 号
収集運搬実績 (自社運搬のみ)

○事業の規模

	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
工事完工高	百万円	370	440	330	270
受注件数	件	12	11	13	11
従業員数	人	13 名	11 名	12 名	12 名
延床面積	m ²	82 m ²	82 m ²	82 m ²	82 m ²

年度の定義: 本年 8 月 1 日～翌年 7 月 31 日

2. 対象範囲

○登録組織名: 有限会社 エム・ビルド

○対象事業所: 本社、資材置き場

○事業活動: 土木工事業

3. 環境経営方針

環境経営方針



理 念

有限会社 エム・ビルドは、お客様や社会から信頼と満足をされる土木工事を提供するにあたり、環境と調和した企業活動を行い、循環型社会の実現に貢献します。

方 針

1. 環境経営に積極的に取組むために、環境経営システムに取り組み、環境関連の法令、条例等を遵守すると共に、地域・業界・顧客の環境関連要求事項に配慮し、継続的な環境活動の改善を図ります。
2. 環境関連法規、条例、その他の規則を遵守します。
3. 環境への取組として、環境経営目標及び行動計画に下記の重点事項を定め、環境経営方針に整合した活動を行います。
 - 1) 電力及び燃料使用の省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量の削減を推進
 - 2) 再生資源の利用・廃棄物の分別に取り組み、廃棄物排出量の削減を推進
 - 3) 現場・事務所の用水利用の管理に取り組み、排水量・水使用量の削減を推進
 - 4) 現場・事務所においてグリーン購入を推進
4. この環境経営方針を全従業員に周知し、環境保全への意識の向上に努めます。

2013 年 10 月 1 日制定

2019 年 8 月 1 日改定

有限会社 エム・ビルド

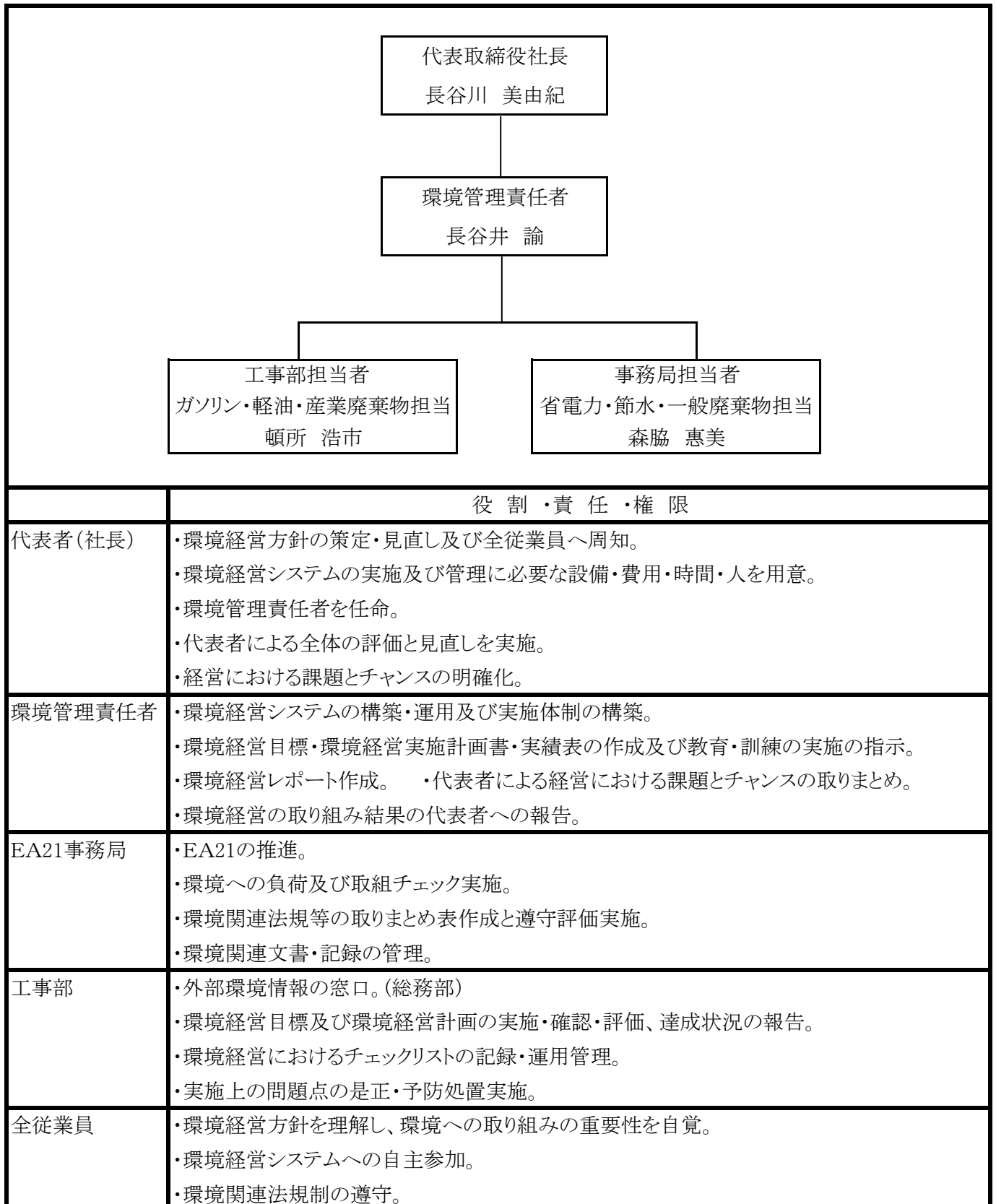
代表取締役

長谷川 美由紀

作成日
作成者

2022年8月25日
森脇 恵美

4. 有限会社 エム・ビルド エコアクション21組織図・実施体制



5-1. 中期環境経営目標(2022年～2024年)

環 境 経 営 目 標

2021年度売上高 (基準年) 330百万円

2022年 8 月 1 日 制定

環境経営目標	年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な使用内容 ・発生場所
		(基準年) 8月～7月 実績	(基準比) 1%削減	(基準比) 2%削減	(基準比) 3%削減	
	売上高 (百万円)	330	340	350	350	
二酸化炭素排出量の削減	kg－CO2	34,643	35,336	36,008	35,640	
売上高当たり	kg/百万円	104.98	103.93	102.88	101.83	
電力使用量の削減		8,081	8,243	8,399	8,314	事務所・資材置 場・現場事務所
売上高当たり	kWh/百万円	24.49	24.24	24.00	23.75	
燃料使用量の削減(ガソリン)	ℓ	4,027	4,108	4,186	4,143	連絡車・トラック等の 燃料代
売上高当たり	ℓ/百万円	12.20	12.08	11.96	11.84	
燃費km/ℓ		8.50	9.30	9.30	9.30	
燃料使用量の削減(軽油)	ℓ	6,271	6,396	6,518	6,452	トラック・タンパカーの 燃料代
売上高当たり	ℓ/百万円	19.00	18.81	18.62	18.43	
燃費km/ℓ		5.20	4.70	4.70	4.70	
廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の排出量の削減	kg	377.7	385.3	392.6	388.6	事務所
売上高当たり	kg/百万円	1.14	1.13	1.12	1.11	
産業廃棄物最終処分量の削減	t	19.7	20.1	20.5	20.3	工事施工
売上高当たり	t/百万円	0.06	0.06	0.06	0.06	
産業廃棄物の再資源化率の向上	%	97.9	99	99	99	工事施工
用水使用量の削減						
用水使用量の削減	m3	104	106	108	107	事務所 ・資材置場
売上高当たり	m³/百万円	0.32	0.31	0.31	0.31	
グリーン購入の推進						
(新たな製品購入時にグリーン購入を推進)	件	9	6	6	6	材料

原単位での削減計画の目標を立案。

電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力2020年度 調整後排出係数0.441kg-CO2/kWhを使用。

- ・産業廃棄物の再資源化率は、処分会社報告数値を採用。
- ・電力使用量目標値は建設現場の購入電力を考慮して設定。

5-2. 環境経営目標と実績

環境経営目標と実績・評価

2021年度売上高（基準年） 330百万円

2022年度売上高 270百万円

環境経営目標	年度	2021年度	2022年度				主な使用内容 ・発生場所
		(基準年) 8月～7月	目標 (基準比) 3%削減	実績 8月～7月	差異(基準 比-実績)	評価	
	売上高 (百万円)	330	340	270			
二酸化炭素排出量の削減	kg- CO_2	34,643	35,336	30,010	5,326	○	
売上高当たり	kg/百万円	104.98	103.93	111.15	-7.22	×	
電力使用量の削減		8,081	8,243	7,384	859	○	事務所・資材置 場・現場事務所
売上高当たり	kWh/百万円	24.49	24.24	27.35	-3.11	×	
燃料使用量の削減(ガソリン)	ℓ	4,027	4,108	4,766	-658	×	連絡車・トラック等 の燃料代
売上高当たり	ℓ/百万円	12.20	12.08	17.65	-5.57	×	
燃費km/ℓ		8.50	9.30	7.90	0.40	×	トラック・ダンプカー の燃料代
燃料使用量の削減(軽油)	ℓ	6,271	6,396	4,049	2,347	○	
売上高当たり	ℓ/百万円	19.00	18.81	15.00	3.81	○	
燃費km/ℓ		5.20	4.70	4.90	1.00	○	
廃棄物排出量の削減							
一般廃棄物の排出量の削減	kg	377.7	385.3	385.5	-0.2	×	事務所
売上高当たり	kg/百万円	1.14	1.13	1.43	-0.30	×	
産業廃棄物最終処分量の削減	t	19.7	20.1	39.4	-19.3	×	工事施工
売上高当たり	t/百万円	0.06	0.06	0.15	-0.09	×	
産業廃棄物の再資源化率の向上	%	97.9	99.0	98.9	-0.10	×	工事施工
用水使用量の削減							
用水使用量の削減	m ³	104	106	123	-17	×	事務所 ・資材置場
売上高当たり	m ³ /百万円	0.32	0.31	0.46	-0.15	×	
グリーン購入の推進							
(新たな製品購入時にグリーン購入を推進)	件	9	6	10	4	○	材 料

原単位での削減計画の目標を立案。

電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力2021年度 調整後排出係数0.451kg-CO₂/kWhを使用。

- ・産業廃棄物の再資源化率は、処分会社報告数値を採用。
- ・電力使用量目標値は建設現場の購入電力を考慮して設定。

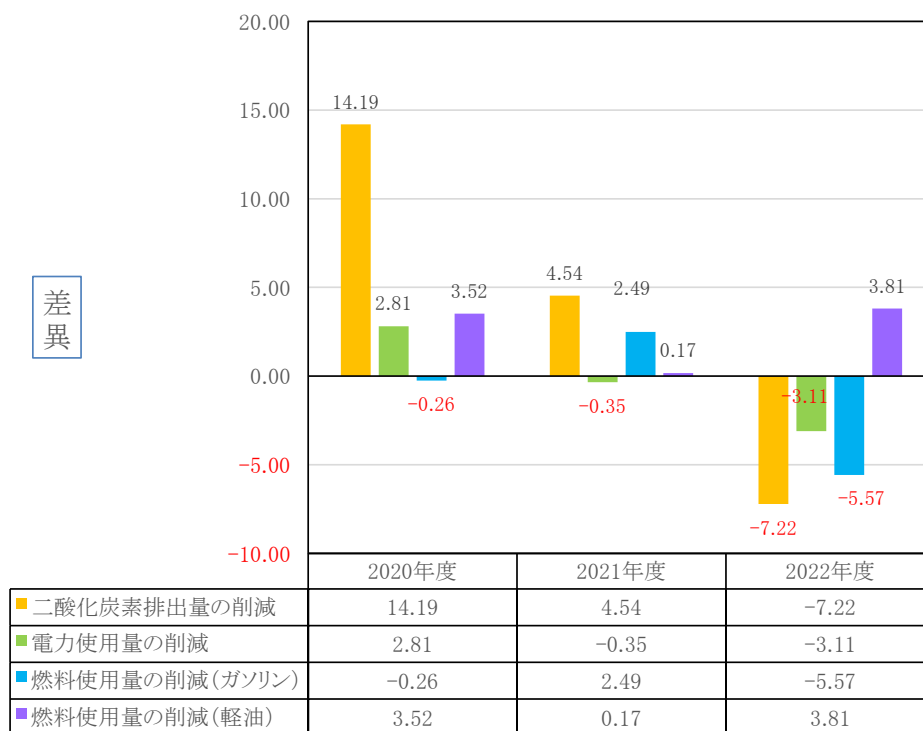
5-2. 環境経営目標と実績

環境経営目標と実績・評価(差異)

(基準年)

環境経営目標	年度	2020年度	2021年度	2022年度
	売上高 (百万円)	440	330	270
	単位	差異		
二酸化炭素排出量の削減				
売上高当たり	kg-CO2/百万円	14.19	4.54	-7.22
電力使用量の削減				
売上高当たり	kWh/百万円	2.81	-0.35	-3.11
燃料使用量の削減(ガソリン)				
売上高当たり	ℓ/百万円	-0.26	2.49	-5.57
燃料使用量の削減(軽油)				
売上高当たり	ℓ/百万円	3.52	0.17	3.81

環境目標と実績・評価(差異)



年度

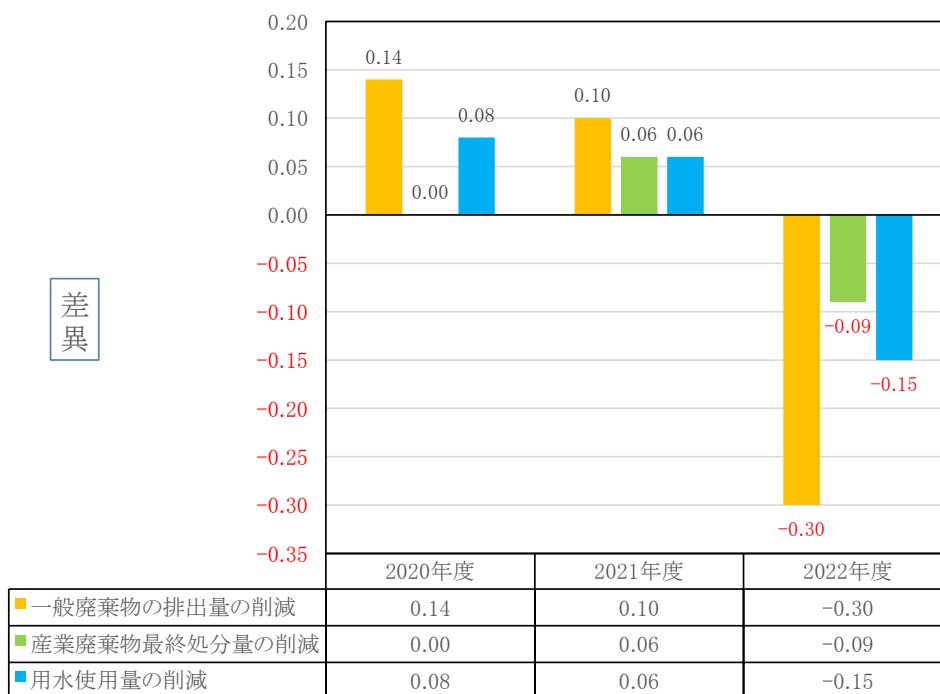
5-2. 環境経営目標と実績

環境経営目標と実績・評価(差異)

(基準年)

環境経営目標	年度	2020年度	2021年度	2022年度
	売上高 (百万円)	440	330	270
	単位	差異		
一般廃棄物の排出量の削減				
	売上高当たり kg/百万円	0.14	0.10	-0.30
	産業廃棄物最終処分量の削減			
	売上高当たり t/百万円	0.00	0.06	-0.09
用水使用量の削減				
	売上高当たり m ³ /百万円	0.08	0.06	-0.15

環境目標と実績・評価(差異)



年度

6. 環境経営計画、取組の結果とその評価、次年度への取組

今年度の評価としては、電力と軽油使用量の削減・グリーン購入の推進は達成できたものの、その他は達成できなかった。売上高当たりの差異も不十分の項目が多くなってしまった。

事務所の増築により電力使用量の増加に繋がらない為に、こまめに節電するよう毎月の定例会議で周知する。

環境経営目標	取組み	結果	評価	次年度取組□
二酸化炭素 排出量の削減	室内温度管理 暖房22℃・冷房26℃	計画より実績は概ね達成できた。 2月は大幅に増加。	○	継続して実施
	不要照明の消灯	こまめに実施。	○	継続して実施 □
	アイドリング・ストップの 推進	適切に実施した。	○	継続して実施 □
	エコドライブ	ガソリン使用量が増加。	△	燃費向上を心がける。 定例会議で周知する。
	車両の日常点検の実施	適正に実施。	○	継続して実施□
	制限速度の遵守	法令速度を遵守している。	○	継続して実施□
廃棄物 最終処分量 の削減	分別保管・排出	適正処理している。 最終処分量が増加した。	△	継続して実施□ 分別を強化する。
	コピー紙裏紙の利用	裏紙としての利用率良好。	○	継続して実施□
	マニフェストの管理及び マニフェスト(E票)の確認	適切に実施した。	○	継続して実施□
総排水量 (水使用量)の 削減	節水に関する啓蒙	ミーティング・ステッカー等で 注意喚起した。	○	継続して実施□
	日常的に節水する。	使用量が増加した。	△	節水を心がける。 定例会議で周知する。
グリーン調達	購入	土木2次製品でグリーン商品を 購入した。	○	継続して実施□ □

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

主要な法規	確認内容	評価の結果
廃棄物の処理と清掃に関する法律	産業廃棄物のマニフェスト管理	適正に処理
	マニフェスト交付一覧報告(6月末迄)	2023年6月に報告
	契約書の確認	随時確認
	事業系一般廃棄物の有料ごみ袋にて処分	実施
建設リサイクル法	分別解体の実施・及び再資源化の実施	実施
騒音規制法 振動規制法	特定建設作業届	該当なし
道路交通法	道路使用許可	必要時取得
労働安全衛生法		法令順守

□

環境関連法規の遵守状況を確認しましたが、違反はありません。なお、関連当局より過去三年間における事業活動の違反等の指摘はありません。また訴訟もありません。

8. 代表者による全体評価の見直し結果

2022年度の活動では、目標に対し未達の項目が多くなってしまったが、二酸化炭素排出量全体では削減することができた。

2023年度は今年度達成している部分も含め、エコドライブや節電等、さらに強化し取り組んでいきたい。